

平成 27 年 1 月 15 日 (木)

琉球新報 (6) 防衛省 “嘉手納より南” 89 億円 県関係 4.4% 増の 1726 億円

防衛省		県関係 4.4% 増の 1726 億円	
【東京】防衛省は 2015 年度沖縄関係予算案で、嘉手納より南の米軍基地返還に伴う経費に 89 億 2 千万円（契約ベース）を計上した。3 月末に返還予定の西普天間住宅地区の建物の取り壊しや土壤汚染調査費には 48 億円が付いた。那覇市監視部隊配備計画では、与那国島の陸上自衛隊沿岸部隊配備計画では、移転費は 28 億 2 千万円。港湾設施関係費は 3 億 7 千万円、牧港補給地区の倉庫群は 48 億円が付いた。那覇軍		宿舎用地取得費 2 億円を計上。陸自警備部隊の宮古、石垣配備に向けた調査費は 2 千万円を盛り込んだ。防衛省地方協力局分の沖縄関係経費は 14 年度当初比で 4.4% 増の 1726 億円（契約ベース）だった。ホワイトビーチの污水处理施設整備費など、施設整備費が数事業の提供施設整備費が数字を押し上げた。嘉手納基地や普天間飛行場周辺の住宅防音工事は 14 年度補正で約 15 億円を計上した影響から減額。周辺環境整備事業は沖縄カトリック ACO の沖縄関係費は 35 S	
嘉手納の海軍駐機場移転がほぼ完了したことから大幅減となった。一方、北部訓練場のヘリパッド建設費などを盛り込んでいる。		嘉手納の海軍駐機場移転がほぼ完了したことから大幅減となった。一方、北部訓練場のヘリパッド建設費などを盛り込んでいる。	
嘉手納の海軍駐機場移転がほぼ完了したことから大幅減となった。一方、北部訓練場のヘリパッド建設費などを盛り込んでいる。		嘉手納の海軍駐機場移転がほぼ完了したことから大幅減となった。一方、北部訓練場のヘリパッド建設費などを盛り込んでいる。	
嘉手納の海軍駐機場移転がほぼ完了したことから大幅減となった。一方、北部訓練場のヘリパッド建設費などを盛り込んでいる。		嘉手納の海軍駐機場移転がほぼ完了したことから大幅減となった。一方、北部訓練場のヘリパッド建設費などを盛り込んでいる。	

防衛省地方協力局の 2015 年度沖縄関係予算案 (単位: 百万円、%)

事 項	14年度 予算額	15年度 予算(案)	対前年度 増減額	対前年度 伸率
1. 基地周辺対策経費	<16,908>	<17,164>	<255>	<1.5>
住宅防音	18,006	15,780	▲2,226	▲12.4
周辺環境整備	<6,333>	<5,053>	▲1,279	▲20.2
2. 補償経費等	<10,576>	<12,100>	<1,535>	<14.5>
(1) 施設の借料	6,276	4,996	▲1,280	▲20.4
(2) 漁業補償	11,729	10,784	▲946	▲8.1
(3) その他の補償等	100,301	100,644	50	0.0
3. 基地従業員関係	97,998	98,602	603	0.6
4. 提供施設の整備	97,339	97,823	484	0.5
5. 提供施設の移設	659	779	120	18.2
(1) 施設の借料	629	957	28	3.0
(2) 漁業補償	1,374	793	▲581	▲42.3
合 計	<4,371>	<7,041>	<2,670>	<61.1>
	4,383	6,072	688	15.7
	<49>	<2,390>	<2,341>	<49.0倍>
	43	76	32	74.5
	<165,345>	<172,612>	<7,267>	<4.4>
	166,449	166,653	203	0.1

注：1 上段<>内は、契約ベースである。

2 計数は、四捨五入によっているので符合しないことがある。